

令和 5 年度 第 2 回 二宮町環境審議会会議録

日 時：令和 6 年 2 月 19 日（月） 午前 10 時 00 分～午前 11 時 30 分

場 所：町民センター 3 階 3A クラブ室

出席者：室田会長/土谷委員/阿部委員/渡辺委員/橘川委員/和田委員/坂本委員

事務局：山口生活環境課長/鈴木環境政策班長/石川主事補

1. 開会

2. あいさつ

会 長：二宮町の環境の向上にむけて、様々なご意見をいただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。

3. 議題

（1）第 2 次二宮町環境基本計画後期実施計画（令和 4 年度）の進捗状況に対する委員意見への今後の町対応について

『資料 1：令和 4 年度進捗状況に対する委員意見に関わる今後の町対応について』
について事務局より説明。

【審議結果】

・「駅前駐輪場の運営（利用者の利便性向上）」について、駅前駐輪場に掲示する啓発ポスターは、CO₂排出量に関するライフサイクルを考慮したものを担当課と調整し作成する。
・「ごみ置場散乱防止対策事業（カラスネット配布）」については、ごみ置場のあり方やごみの出し方について併せて検討をするとともに、生活をする上で誰にでも当てはまる環境問題であるため、イベント等のトピックとして環境に関心を持つきっかけに繋げることも検討する。

【質問・意見等】

事務局：「駅前駐輪場の運営（利用者の利便性向上）」については、原付バイクの利用延べ台数が 12,457 台と多かったため、スマート・ムーブに関するポスターを生活環境課で作成し掲示する等、担当課である防災安全課と協力しながら取り組んでいきたい。

委 員：電動アシスト付き自転車の普及に向けた駐輪場の整備を行うと記載があるが、バッテリーの発火、盗難等の防犯対策の徹底及びバッテリーの充電時や製造過程等における CO₂排出も考慮しなくてはならない。

事務局：啓発ポスターの作成の際には、CO₂排出量に関するライフサイクルを考慮することとし、担当課ともよく調整を行いながら進めていくこととする。

委 員：生ごみを出す際には、カラスによる散乱防止として、しっかりとネットを被せている人が多い一方で、プラごみはカラスに荒らされる心配がないことから、ネットをしっかりと被せていないことが多く、出すときの配慮が足りていない人が多く感じる。

委 員：カゴの設置を義務化する等の強制力が必要ではないか。

委 員：二宮町のごみ置場は町が指定しているものでなく、自治会ごとに決めているため、

そのような取り組みに町が関与することはない。

事務局：ごみ置場が道路に面している箇所があることから、カゴの設置を促すことは難しいが、道路にはみ出ない箇所であれば、ごみ置場を使う方々でカゴを購入し、設置することは可能である。

委員：ごみの出し方やごみ置場のあり方については、生活をする上で誰にでも当てはまる環境問題であるため、イベント等のトピックとして呼びかけるとよいのではないか。

事務局：検討する。

委員：ごみ置場が多すぎるので、集合住宅用のごみ置場と戸建て住宅用のごみ置場を統合してはどうか。

委員：高齢化等の影響でごみ出しが難しい世帯もあるため、そのような事情を抱える方の近くにごみ置場を集約してはどうか。

事務局：ごみの出し方については、高齢化に伴い、ごみ出しが難しい方が増えていくことが予想される中で、様々な検討を行っている。相互に利益のある仕組みをつくれないと解決は難しいと考えている。

会長：「ごみ置場散乱防止対策事業（カラスネット配布）」については、ごみ置場のあり方やごみの出し方についても併せて検討するとともに、環境について関心を持つきっかけに繋げることに取り組むべきということを審議会の意見としてよろしいか。

委員：異議なし。

（２）今後のスケジュールについて

『資料２：令和６年度二宮町環境審議会スケジュール案』
について事務局より説明。

【質問・意見等】

特になし

（３）その他

・後期実施計画での指標設定の方向性について

『資料３-１：後期実施計画での指標設定の方向性』
について事務局より説明。

【審議結果】

・後期実施計画の策定にあたってはアウトプットやアウトカムを意識した指標の設定を検討する。

・マイエコ１０宣言については、県が取り止めた場合でも継続し、小学校低学年から高学年にかけての環境行動の変化を把握できるような工夫を検討する。

【質問・意見等】

委員：後期実施計画に向け、資料のとおりアウトプットやアウトカムを意識しながら計画を推進してほしい。

委員：神奈川県が「マイエコ１０宣言」を取りやめる理由として、「COOL CHOICE」から

「デコ活」への移行が主な要因と記されているが、「デコ活」になったことで具体的には何が変わったのか。

事務局：従来の「COOL CHOICE」では、生活にまつわる賢い選択（行動）をするものだったが、デコ活では脱炭素に繋がる新しい暮らしの 10 年後を明らかにしており、それに向けて取り組んでいくものになったと認識している。

委員：子どもたちの地球温暖化防止行動を促進するにあたって、マイエコ 10 宣言では効果が薄いのではないかと。また、環境行動の把握はできているのか。

事務局：現在は、やっていることとできそうなことに○印を書いてもらっているが、やっていることに◎印、できそうなことには○印といったように、もっと具体的な環境行動を把握できるような工夫を検討する。計画に位置づけがある事業のため、途中で設問を変えてしまうと一貫した数値が図れなくなることから、変更するタイミングやその内容等を含め検討する。

・第 3 次二宮町環境基本計画 事業管理シートについて

『資料 3-2：第 3 次二宮町環境基本計画 事業管理シート（案）』
について事務局より説明。

【審議結果】

- ・事業管理シートの詳細情報の欄は、事業内容が書ききれない可能性があるため、別紙にすることや欄の幅を広げる等の工夫をする。
- ・事業が促進型か推進型なのかを記載する。
- ・事業管理シートは完成次第、委員の皆様にもメールで送付して最終確認を行う。

【質問・意見等】

委員：ツールの種類のどれにも当てはまらない「河川の水質調査を実施」等の事業の場合はどのような入力をするのか。

事務局：「その他」に○を付け、詳細情報の欄に事業内容を入力することとなっていたが、「その他」の対象となる分野が広いため、「その他」以外の項目も増やす等、回答しやすいような工夫をする。

会長：詳細情報の欄内で事業内容が書ききれないことも考えられるため、詳細情報の回答を別紙にすることも検討してはどうか。

事務局：検討する。

事務局：事業管理シートの「その他」の欄を細分化にするにあたり、促進型と推進型を明確にしたほうが回答しやすいと考えられるため、シートの中にどちらかを記載することとする。

委員：事業管理シートのツールの種類の中に防災無線とあるが、防災無線は一般的に緊急情報を知らせる際に使用するため、ここにはそぐわないのではないかと。

事務局：防災無線は熱中症警戒アラートの際に使用することとなっており、そのほかの周知や啓発に使用するというものではない。

委員：今までは、暑さ指数※が 33℃以上の場合に「熱中症警戒アラート」を発出していたが、35℃以上となる場合には「熱中症特別警戒アラート」という「熱中症警戒アラート」の上位のものを発出することとなったため、防災無線の活用はそのような観点で必要ではないか。

※暑さ指数とは、熱中症を予防することを目的として提案された指標で、単位は気温と同じ摂氏度（℃）で示されますが、その値は気温とは異なります。暑さ指数は人体と外気との熱のやりとり（熱収支）に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい①湿度、②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標です。暑さ指数が 31℃以上の場合、全ての生活活動の中で、熱中症を引き起こす危険性があるとされています。

事務局：審議会の意見を参考にシートの修正を行い、委員の皆様にメールにて送付し、再度確認をいただくということでよろしいか。

委員：異議なし。

4. 閉会

事務局：これもちまして、本日の環境審議会を閉会とさせていただきます。